

ジャンルを超越した、音楽の求道者 ヴァイオリン界の孤高の天才によるソロ・リサイタル

チェロのヨーヨー・マからジャズ・ヴァイオリニストの大家ステファン・グラッペリ、ギターのアサド兄弟、東儀秀樹、葉加瀬太郎、高嶋ちさ子、ベルリンフィル・メンバーまで…各ジャンルのトップ・オブ・トップと共演を重ねてきた古澤巖。さらには合気道、サーフィン、カーレースまで、クラシックにこだわらず、あるいは音楽にこだわらず、あ

りとあらゆるものを取り入れ、またテレビやラジオといった各メディアに出演を重ね発信を続けるその様は、まさに「音楽の求道者」!

美しき港町・みなとみらいに響く、古澤巖の気高き調べ。どうぞご期待あれ!

古澤 巖 Iwao FURUSAWA, ヴァイオリン

競技ダンスと演奏の番組「Dの旋律」は5年目を迎えている(毎週(木)TV東京21:54-)。2月にはフランスからの古き良き「コルシカ音楽祭」、4月には毎年新しいアルバムをリリース予定(HATS)。今回の録音はベルリンフィル・ストリングスとの共演で溢れている。6月にはTAIRIKとの純クラシック「品川カルテット」ツアーを、秋には定例バロックduoを予定している。年間160公演行い、洗足学園音楽大学客員教授、COCO FARM WINELY取締役、毎夏日向でミュージック&サーフィンキャンプを開催。Mr.ル・マン寺田陽次郎率いるテラモスレーシングチームでは年間10戦程参戦中(9年目)。

金益研二 Kenji KANEMASU, ピアニスト・作編曲家



東京都出身。東京芸術大学音楽学部作曲科卒業。作曲を近藤譲氏に師事。幼少時にピアノおよびエレクトーン(電子オルガン)を始め、クラシックからポピュラー音楽全般まで親しむ。大学卒業後はアルゼンチンタンゴに傾倒し06年にはブエノスアイレスにてホルヘ・ドラゴネ(Jorge Dragone)氏にタンゴピアノを師事。ピアニストとしては尺八奏者・渡辺淳氏とのユニット「うみがめ」での活動や古澤巖氏「ヴァイオリンの夜」全国ツアーのピアニストを長きにわたり務め

るなど幅広く活躍中。

作編曲家としては「銀色のペガサス」など古澤氏への楽曲提供も行なうほか、コロラトゥーラ・ソプラノ田中彩子のCDアルバム「思い出のコロラトゥーラ」で編曲・演奏を担当、ヤマハより「JAZZアレンジで弾くスタジオジブリ」ほかアレンジ楽譜を多数出版など。また08年より世界の音楽とオリジナル楽曲を織り混ぜた独自のスタイルでソロピアノライブ「音の散歩」シリーズを展開中。

CD:オリジナル作品集「音の散歩～おいしい風～」ほか ストリーミングアルバム:「The Improvisation's」vol.1~3 ほか

Iwao Furusawa Violin Concert 2026